



私たちが目指すもの

私たちは社会資本整備や災害対策等に対して、測量を通じて活躍のできるプロフェッショナルな人材の育成とともに、時代に適した新しい技術を習得し、社会やお客様のニーズに応えられる質の高い会社となることを目標としています。

PICK UP 主な受注動向(令和5年度)

- R5.3.13 R 4 烏川上流外基準点測量業務(高崎河川国道事務所)
- R5.3.13 R 4 神流川基準点測量業務(高崎河川国道事務所)
- R5.3.16 R 5 寄居地点外流量観測業務(荒川上流河川事務所)
- R5.3.16 R 5 小ヶ谷地点流量観測業務(荒川上流河川事務所)
- R5.4.6 R 5 品木ダム堆砂測量業務(品木ダム水質管理所)
- R5.4.25 R 5 首都圏氾濫区域動態観測等業務(利根川上流河川事務所)
- R5.7.26 詳細設計業務(その3)(高崎市)
- R5.9.4 R 5 利根川上流部基準点測量業務(利根川上流河川事務所)
- R5.9.29 R 5 日光砂防国有林野等用地調査等業務(日光砂防事務所)

NEXT ISSUE

次号は
DXに向けて

VOL.2

会社情報

会 社 名 株式会社リョーチ
代 表 者 代表取締役会長 植松 元
代表取締役社長 松本 陵
改 編 令和3年7月1日(合併日)
資 本 金 2,000万円
事業内容 [測量]
基準点測量・水準測量・地形測量・3D計測・立木調査・その他応用測量等
[申請業務]
河川道路申請・開発申請・保安林解除申請を含む国有林野申請等
[用地調査] 権利調査・地下埋設物調査・境界確定等
[設計] 土木設計・宅地造成計画等

社名 リョーチの由来

中国には古来より「測天量地」という言葉があります。「測天」は天文観測に、「量地」は土地測量にあたります。量地にも緯度経度を測るために測天の技術を用いたようです。社名は、主業務としている土地測量を意味する量地(リョーチ)より引用いたしました。



高崎本社 群馬県高崎市小八木町2039-1
TEL 027-361-1441 FAX 027-364-6062
前橋支社 群馬県前橋市下石倉町24-5
TEL 027-254-1682 FAX 027-253-6446
足利営業所 栃木県足利市鹿島町1092-15
TEL 0284-22-7122 FAX 0284-22-7124

Check



ryoochi.co.jp



株式会社リョーチ

株式会社リョーチの"今"をお届けする「リョーチニュースレター」

TAKE FREE

ご自由にお持ちください

2024

02

vol.10



1月の活動実績



1月4日 下仁田町役場

01 下仁田町より表彰

当社(株)リョーチは、令和6年の下仁田町新年互礼会(新年おもてなしセレモニー)に招待を受けました。町政の発展及び公益に寄与したことを評価され、下仁田町善行者表彰を授与されました。

02 業務研修報告及び意見交換会

昨年4月から12月まで弊社で業務研修を体験したトプコンの小林さんの報告会が行われました。測量機器トップメーカー側の視点から測量現場での機器の利用状況等の新たな発見、弊社側も認識していなかったトプコン社製の使用法の気づきなど、相互の業務をより効率化させる集いとなりました。



1月12日 弊社にて



1月17日 高崎市立西部小学校にて

03 薬物乱用防止教室

高崎ライオンズクラブに所属する当社会長植松が、小学校6年生の薬物乱用防止教室の講師を務めました。児童たちは、たばこの害や薬物の怖さの講話の後、「うまく断るには!」のロールプレイングで、誘う役の先生に戸惑いながらもそれぞれ薬やお酒等の断り方を実践していました。最後には「だめな事は、はっきり断らないといけない。」という感想も述べられ、それぞれが断り方の貴重な体験をしました。

未来のインフラをそうぞうする会社



株式会社リョーチは、高崎市に拠点を置く測量会社です。測量技術・知識を通して多くのお客様の役に立ち、必要とされる会社になることを目標に、日々努力しています。そんな私たちの日々の取組みを皆様に知っていただき、信頼できる会社かどうか…のぞき見ていただけるよう RYOACHI NEWSLETTERを作成しました。ほぼ毎月の発刊を目指しています!

PREPARING FOR "DX"

当社は、DX(デジタルトランスフォーメーション)を推進し、企業としての競争力の向上を目指しています。

01 of what we do for DX

公図調査

令和5年1月23日から登記所備付地図の電子データ(地図XMLデータ)が無償で公開されています

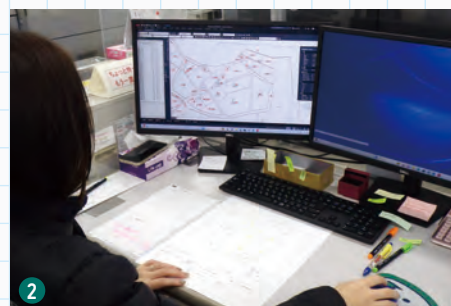


DXとは?

デジタル技術を活用しビジネスモデルを変革し、競争上の優位性を確立すること(経済産業省発表)

従来の流れ

- 1 法務局で地図の写し(紙の書面)の交付を受けるかインターネットでPDFデータをダウンロード
- 2 PCへ読込んだ公図を、CADでトレース
- 3 図面が完成



PROBLEMS
こんな問題点が...

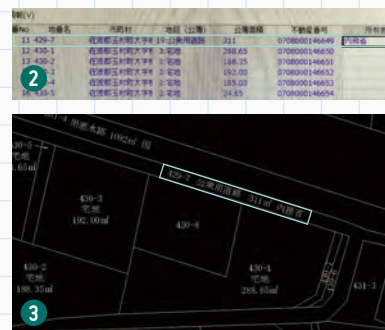
PROBLEM
紙の元図をトレースして図面データを作成するため、トレースの誤差が生じることがある

PROBLEM
アナログ(紙)データをデジタルデータに変更するため、**人力(時間)**が必要となる

当社の現在の流れ

地図XMLデータ
= 公図の電子データ

- 1 広範囲の公図データの確認
必要範囲外の地番状況の確認が可能
- 2 必要範囲を決定、登記簿データ読込
- 3 トレースも登記情報入力もなしで図面が完成



MERIT and CAUTION

XMLデータの利点と使用時の注意点

MERIT

作業時間の短縮、誤差が発生しない

公図の電子データである地図XMLデータを専用のCADソフトで読み込むことで**トレースをせずに**図面(CADデータ)の取得が可能となる。

MERIT

作業が効率化され精度が向上する

登記情報提供サービスから取得した登記簿(PDF)を、図面(CADデータ)に紐づけることで、**データ入力せずに**登記情報を図化できる。

CAUTION

地図XMLデータ公開以降に分筆が発生した場合、最新の公図を取得し、地図XMLデータを修正する必要がある

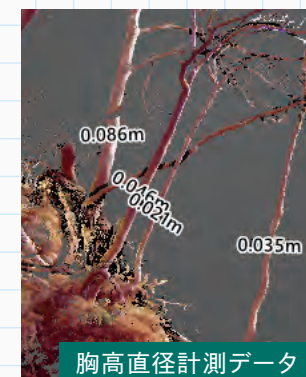
\ 分筆が反映されていない /



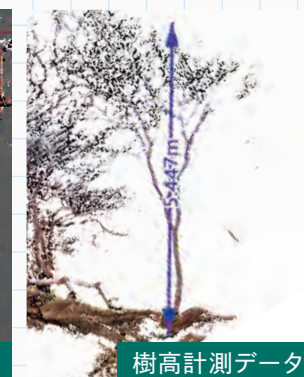
02 of what we do for DX

立木調査

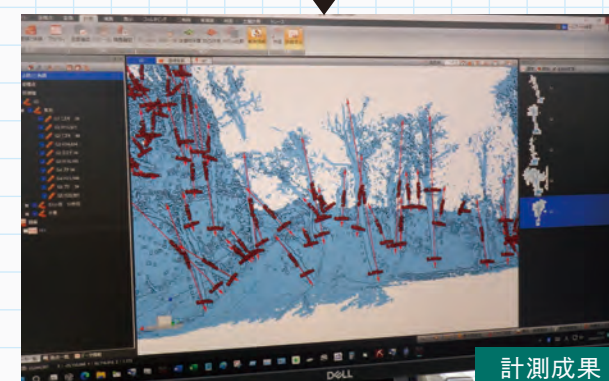
地上レーザスキャナで急斜面の山腹を撮影して3次元データを取得。社内にながら、パソコンを使用してデータから樹高や胸高直径を計測し成果を作成しています。



胸高直径計測データ



樹高計測データ



計測成果

03 of what we do for DX

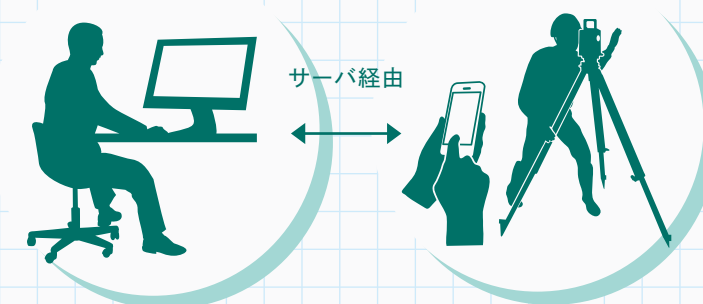
現場確認

Gリポート(遠隔臨場システム)を使用することで、発注者側は現場へ出向かずに現場確認が可能となります。観測回数が多い現場で、速やかに、発注者に現場確認(点検測量)をしていただけます。



検査側

現場側



NEXT ISSUE

次号は
DXに向けて VOL.2